

第11歌 冥府行

[オデュッセウス](#)の一行は[キルケ](#)の島を発ち冥府に行き、そこで羊の血を地面の穴に注いで予言者[テイレシアス](#)を待った。血にひかれて寄ってくる亡霊たちを退けているとテイレシアスが来て、予言を語った。それから、伝説の時代の高貴な女たちや英雄たちの亡霊から話を聞いて、一行は冥府を後にした。

内容

冥府に着く オデュッセウスの話は続いた。「我らは船で[キルケ](#)の島を出発した。順風に送られて進むと、[オケアノス](#)河の涯に着いた。そこは決して日の射すことのない[キンメリオイ](#)族の国土であった。船を降り、河に沿って歩き、キルケに教わった場所についた。そこで供物と祈りを捧げ、生贄の羊の頸を切って血を地面の穴に注ぎ込むと、亡者たちの霊が集まってきた。私は非常に恐れ、部下たちに[ハデス](#)と[ペルセポネ](#)に祈るよう命じると、剣を構えて[テイレシアス](#)が来るまで他の霊を血に近づけなかった。



(画像/[オデュッセウスとテイレシアス](#))

テイレシアスの話をきく 最初に部下[エルペノル](#)の亡霊がやってきた。彼は私にここを去った後、自分を埋葬するように頼んだ。次に私の母[アンティクレイア](#)の亡霊がやってきた。[トロイア](#)遠征の出発の時には生きていた母の姿を見て、彼は憐れんで泣いた。そこへ予言者[テイレシアス](#)がやってきた。私は彼に血を啜らせて話を聞いた。「そなたの帰国は苦難の旅となるだろう。だが帰国の望みはある。冥府を後にして、太陽の神[ヘリオス](#)の住む[トリナキエ](#)島についた時、彼の飼う牛と羊に決して危害を加えてはならぬ。そして故郷の屋敷に帰ったら、そなたは求婚者たちを懲らしめねばならないだろう。その後は海を知らない人間たちの国へ達するまで旅を続けねばならぬ。そこで、そなたの担ぐものを「穀竿」だと申す者に出会ったら、櫂を大地に刺して[ポセイドン](#)に生贄を捧げよ。そして国許に帰って、不死なる神々全てに百牛を献げよ。そなたの最期は海から離れた場所で、恵まれた老年を送りつつ、老衰して安らかに果てることになる。」
[テイレシアス](#)は去った。私は今度は母親に血を飲ませた。[アンティクレイア](#)は私の屋敷のことや、夫の[ラエルテス](#)が息子の帰りを待って寂しく過ごしていることを語り、自分の死因も息子の帰りを待ちわびる辛い気持ちであったと語った。

高貴な女たちの霊に会う それから高貴な女たちの亡霊が集まってきた。私は一人ずつ話を聞くことにした。

- 最初にサルモネウスの娘テュロに会った。彼女はクレテウスの妻だったが、エニペウス河に恋した。いつも川辺に足を運んでいたが、河神の姿をかりたポセイドンが現れて交わった。彼女はペリアスとネレウスを生んだ。ペリアスはイオルコスに、ネレウスはピュロスに住んだ。テュロはクレテウスとの間にアイソン、ペレス、アミュタオンをもうけた。
- 次にアソボスの娘アンティオペに会った。ゼウスと共寝したと言い、アンピオン、ゼトスを生んだ。二人はテーバイの町を築いた。
- 次にアンピトリュオンの妻アルクメネに会った。ゼウスと交わりヘラクレスを産んだ。
- 次にクレオンの娘でヘラクレスの妻メガラに会った。
- 次にオイディプスの母エピカステに会った。オイディプスは神意による苦しみした後、テーバイでカドモスの民を治めつづけたが、母は首を吊って死んだ。
- 次にネレウスの妻クロリスに会った。彼女はイアソスの子アンピオンの末娘だった。美しい娘ペロと、その婚姻について話される。
- 次にデュンドレオスの妻レダに会った。彼女の二人の息子カストルとポリュデウケスの話がされる。二人はゼウスからの特権により、一日ごとに交互に生き死にを繰り返す。
- 次にアロエウスの妻イピメディアに会った。彼女はポセイドンと交わり、オトスとエピアルテスを産んだ。二人はオリオンに次ぐ巨大さで、九歳で16メートルの身長があり、オリュポスの神々に戦いを挑んだが、アポロンに討ち取られた。
- 次にパイドラにプロクリス、アリアドネに会った。アリアドネは、かつてテセウスが連れ帰ろうとしたが、その前にディアの島で亡くなった。

私は他にも数多くの女たちに出会い、話を聞いた。

英雄たちの霊に会う

- 女たちが去ると、アガ멤ノンの亡霊がやってきた。アガ멤ノンの死を知らなかった私は、何があったのか訊いた。アガ멤ノンはアイギストスによって殺された無念を語った。アガ멤ノンは私に、女は信が置けぬゆえ、故国に帰ってもしくはらばらくは密かに人目につかないようにせよと、助言した。

次にアキレウスの霊と、パトロクロス、アンティロコス、アイアスの霊がやってきた。

- アキレウスは父ペレウスと息子ネオプトレモスの消息を私に尋ねた。私は父親の消息は知るよしもないが、息子はトロイアの戦場で目覚ましい働きをしたと語った。
- アイアスは、かつてアキレウスの武具をめぐって私と競い、それに敗れたことをまだ憤っていた。私は話を聞いてくれと語りかけたが、アイアスは何も答えず去っていった。
- 冥王の館の中で、ミノスが死者に裁きを下している姿があった。
- 巨人オリオンが人気ない山中で、狩った獣を駆り集めている姿があった。
- ティテュオスが270メートルにわたって横たわっていた。二羽の秃鷹がその肝臓を食い破っていた。レトに狼藉を働いた報いであった。
- タンタロスが責苦を受けつつ水中に佇んでいた。のどの渴いた老人が水を飲もうと身をかがめると水は消えてしまうのだった。さまざまな果実が頭上に実っていたが、老人が手をのばして取ろうとすると、風がそれを吹き飛ばした。
- 巨大な岩を両手で押し上げているシシュボスがいた。岩を頂上めがけて押し上げるが、頂上の手前で岩は押し戻され、再び平地に転げ落ちた。
- ヘラクレスの姿もあった。これは彼の幻影であり、本人は天界にいたのだ。彼は私に語った。「そなたもわしと同じ苦しみを受けているのだな。わしもかつて自分より劣る男に仕えさせられ、この場所へ冥府の犬を連れ帰るべく差し向けられた。わしは見事にその犬を地上に連れて帰ったが、この時ヘルメスとアテナが付き添って下さった。」

私は他の英雄を見れないかと、しばらくその場で待っていたが、無数の亡者が集まってきたので恐怖にとらわれた。私は急いで船に戻り部下たちに出発を命じ、こうして我らは冥府を去った。」

関連

人名

亡霊として現れた者を青地で示した。

オデュッセウス	テイレシアス の予言を聞きに冥府へ降りた
キルケ	魔女。オデュッセウスを冥府へ行かせた
ペリメデス	オデュッセウスの部下
エウリュロコス	オデュッセウスの部下
テイレシアス	亡霊。オデュッセウスに予言を与える。
ハデス	冥界の王
ペルセポネ	ハデスの妻
エルペノル	亡霊。第10歌で死んだ、オデュッセウスの部下だった男
アンティクレイア	亡霊。オデュッセウスの母
ヘリオス	太陽の神
ポセイドン	オリュンボスの神
アルテミス	オリュンボスの神
テレマコス	オデュッセウスの子
テュロ	亡霊。サルモネウスの娘、 エニペウス 河に恋をした
クレテウス	テュロの夫、 アイオロス の子
エニペウス	河神、テュロが恋した神。
ペリアス	テュロの息子。父はポセイドン
ネレウス	テュロの息子。父はポセイドン
アイソン	テュロの息子。父はクレテウス
ペレス	テュロの息子。父はクレテウス
アミュタオン	テュロの息子。父はクレテウス
アンティオペ	亡霊。河神アソポスの娘、 ゼウス と共寝した
アンピオン	アンティオペの息子、 テーバイ を築いた
ゼトス	アンティオペの息子、 テーバイ を築いた
アルクメネ	亡霊。アンピトリュオンの妻、 ゼウス と交わり ヘラクレス を生んだ
ヘラクレス	アルクメネの息子。本人は天界におり、影が冥界にある
メガラ	亡霊。 クレオン の娘、 ヘラクレス の妻。
エピカステ	亡霊。 オイディプス の母。首を吊って死んだ
オイディプス	テーバイ の王、 エピカステ の娘
クロリス	亡霊。 ネレウス の妻、 イアソス の子 アンピオン の娘
イアソス	アンピオン の父
ネストル	ネレウス の子
クロミオス	ネレウス の子
ペリクリュメノス	ネレウス の子
ペロ	ネレウス の娘
イピクロス	豪勇の者、 ペロ と結婚する条件は、彼の牛を奪うことだった
レダ	亡霊。 テュンダレオス の妻
テュンダレオス	レダの夫、 スパルタ 王
カストル	テュンダレオス とレダの子
ポリュデウケス	テュンダレオス とレダの子
イピメディア	亡霊。 ポセイドン と交わった

アロエウス	イピメディア の夫
オトス	イピメディア の子。巨人
エピアルテス	イピメディア の子。巨人
オリオン	巨人
アポロン	神。 ゼウス と レト の子。 オトス と エピアルテス を討ち取った
パイドラ	亡霊
プロクリス	亡霊
アリアドネ	亡霊。 ミノス の娘
ミノス	亡霊。 クレテ 王。冥府では、亡者を裁いている
テセウス	アリアドネ を連れ去ろうとした
ディオニュソス	神
マイラ	亡霊
クリュメネ	亡霊
エリピュレ	亡霊
アレテ	アルキノオス の妃
エケネオス	パイエケス 人の長老
アルキノオス	パイエケス 人の王
アガ멤ノン	亡霊。 アトレウス の子。 ミュケナイ 王
アイギストス	アガ멤ノン を殺した
クリュタイムネストラ	アガ멤ノン の妻。夫を殺すのに協力した
プリアモス	トロイア 王
カッサンドラ	プリアモス の娘。 アガ멤ノン が トロイア から連れ帰った
ヘレネ	メネラオス の妻。 トロイア戦争 の原因となった
ペネロペ	オデュッセウス の妻
メネラオス	スパルタ 王
オレステス	アガ멤ノン の子
アキレウス	亡霊。 ペレウス の子。 アイアコス の末裔
パトロクロス	亡霊
アンティロコス	亡霊
アイアス	亡霊。 テラモン の子
ネオプトレモス	アキレウス の子
エウリュピュロス	トロイア 軍の勇士。 テレボス の子
ムムノン	トロイア 軍の勇士
エペイオス	トロイの木馬 を作った
アレス	戦さの神
テティス	女神。 アキレウス の母
アテナ	アキレウス の武具を賭けた競争を審判した
ティテュオス	亡霊。 [[ガイア]]の子。ハゲタカに肝臓を食われている
タンタロス	亡霊。責苦を受けており、目の前の水を飲むことができない
シシュポス	亡霊。岩を押し上げ続ける責苦を受けている
ヘベ	ゼウス と ヘラ の娘。 ヘラクレス の妻
ヘルメス	ヘラクレス の冥府行きに付き添った
テセウス	古の英雄
ペイリトオス	古の英雄

地名

オケアノス	世界の果てを流れる河
イタケ	オデュッセウス の故国
アイアイエ	キルケ の島
イリオス	トロイア のこと
テバイ	テイレシアス のいた町
トリナキエ	ヘリオス の牛がいる島
イオルコス	ペリアス が住んだ国
ピュロス	ネレウス が住んだ国
オルコメノス	イアソス が統治した国
ピュラケ	イピクロス が牛を飼っていた地
クレタ	アリアドネ がいた地
アテナイ	テセウス が アリアドネ を連れて行こうとした地
ディア	アリアドネ が死んだ島
スパルタ	メネラオス の地
スキュロス	ネオプトレモス がいた地
パノペウス	ピュト へ行く途中の町
ピュト	デルフォイ のこと

[前へ](#) ... [オデュッセイア](#) ... [次へ](#)